

発達支援における支援プログラム

『5領域』について

児童発達支援および放課後等デイサービスにおいて、ご本人の支援を行う上で、ガイドラインにより『5領域』に分類されており、それぞれの領域の支援を行うように定められています。

エブリイにおいてもこの5領域に沿って支援を行っております。

I. 健康・生活

- i. 健康の維持や改善
- ii. 生活習慣やリズムの改善及び形成
- iii. 生活スキルの獲得・維持・継続

など健康や生活に密着した支援を指します。

エブリイ(児童発達)では一緒に手洗いをを行うことで正しい洗い方の定着を目指しています。また、片付けや衣類の畳み方なども一緒に練習していく事で生活スキルの獲得を行っています。

エブリイ(放デイ)では来所時の挨拶から体温測定、靴や鞄を所定の位置に置く、手洗い後に提出物や宿題といった流れを行ってもらい、生活習慣や健康維持に繋がっています。また、スプーンやお箸トレーニング、洗濯たたみなど生活する上で必要となる事を微細運動を通じて行っています。

II. 運動・感覚

- i. 姿勢や運動・動作の向上
- ii. 感覚機能の活用
- iii. 動作や感覚の補助手段の活用
- iv. 感覚刺激などの特性への支援

など運動や感覚への身体的機能の向上・発展や動作が困難な場合の補助具の活用や支援を指します。

エブリイ(児童発達)では正しい姿勢を学び、基本的動作やバランス感覚の向上、色々な道具を使うことで感覚機能を活性化させていきます。

エブリイ(放デイ)では公園遊びや室内での粗大運動(走る・跳ぶなど)や微細運動(主に指先を使った作業など)に加え、ハサミ、ノリを使つての工作や粘土や筆などを使用して作品作りや色塗りなど行っています。また、センサリーグッズを使用した感覚遊びなども行っています。

Ⅲ. 認知・行動

- i. 意味を理解して行動する力
- ii. 空間把握・数の理解・お金や時間の概念の習得
- iii. 場面や環境における適切な行動

など場面の理解やそれに伴った行動、日常生活において身につけておくスキルの向上を指します。

エブリー(児童発達)では写真や絵のマッチングによる理解、スケジュールやタイマーを用いた時間的概念の構築、次の活動への切り替えを一緒に行っていきます。

エブリー(放デイ)では個別療育を通じて各児童に合わせた課題(お金や時計の理解・買い物シュミレーション・感情表現・相手の気持ち・こんな時どうする etc.)や小集団による社会生活技能訓練(SST)やチームで行うビジョントレーニングも行っています。

Ⅳ. 言語・コミュニケーション

- i. 言語の習得及び日常的な言葉や文字の理解・向上
- ii. 読み書きする力の向上
- iii. 自己発信できる手段や能力の向上
- iv. コミュニケーション能力の向上
- v. 様々なコミュニケーション手段の構築

などコミュニケーションを取る上での言語や文字の理解、訴える力や伝え方など相手とやり取りできる能力の向上および言葉以外でのコミュニケーション手段を模索し、伝達できるメソッドを指します。

エブリー(児童発達)では職員とのコミュニケーションを始め、絵本の読み聞かせや音読など他者とやり取りできる力を育んでいきます。

エブリー(放デイ)ではフリータイムで友達同士の貸し借りやおもちゃの貸し出しカード、聞き取りボードなど用いながらコミュニケーションに繋がっています。自己発信が難しい方にも配慮した環境作りや取り組みを行っています。言語や文字の理解についても個別療育において一人ひとりに合わせた支援を行っています。

V. 人間関係・社会性

i. 他者との関わりや関係性の構築

ii. 自己の理解と行動の調整

iii. 集団への参加と仲間づくり

など気持ちや感情の理解やコントロールを始め、自己の理解、模倣行動から対人関係、ルールや秩序を守った行動、集団活動の参加および地域生活する上での基本的概念や行動を指します。

エブリイ(児童発達)では職員との関係作り、遊びを通じての模倣行動、社会における基本的ルール(物を取らない、人を叩かない、順番を守るなど)を学んでいきます。

エブリイ(放デイ)ではフリータイムでの遊びの中で、自分の物と他人の物の理解、一緒に遊ぶ中でのルール作り、レクリエーション活動において、小集団やチームプレーを通じて集団で目標達成する喜びを感じたり、人間関係の構築を目指します。また、役割分担や日直など行うことで社会性への取り組みを行っています。

その他の支援プログラム（児童発達・放デイ）

I. 家族支援

送迎時や電話・メールにてご本人のご家庭での近況や放デイでのご様子について情報共有や情報交換を行ったり、ご家庭での悩み事や相談についてアドバイスと一緒に解決策を考えていきます。

II. 移行支援

ご本人の将来の希望や進路をご本人及びご家族とも相談させて戴き、それについて必要な支援などを行っていきます。また、園から小学校、小学校から中学校への進学においてや学校での過ごし方、問題点(課題)など園や学校側と情報を共有しながらズレのない支援を進めていきます。

III. 地域支援・地域連携

公園遊びの時間において、近隣の小学校の児童との交流や避難訓練などの地域活動において公民館や管轄の消防署との連携を行っております。

Ⅳ．職員の質の向上

管理者(看護師・公認心理士)のもと、虐待研修や感染症対策・防災マニュアル・各障害特性と理解や支援について・個別療育の適正と振り返りなど月別または、その都度実施しております。

Ⅴ．主な行事

季節に応じた催し物(花見・夏祭り・ハロウィン・クリスマス会など)を企画し、行っています。また、月毎にその月の関連した工作や料理レクも実施しております。

以上が、エブリイにおける支援プログラムとなっています。

5領域においてはなるべく分かり易く特徴的なものを記載させて頂きましたが、そのお子様によって苦手な項目、得意な項目があるのは当然のことです。ご本人のペースに合わせた支援を行い、スモールステップアップ出来るようにお手伝いさせていただきます。

「できた！」から自信に繋がり、自己肯定感を高めていき、『私っていいな!』と感じてもらえることをエブリイでは支援の基幹とさせて頂いております。